

WEEKLY REPORT

<6月の諸事お祝い>



会員誕生日6月20日高橋修会員



夫人誕生日6月5日高橋修会員
(多賀子様)



夫人誕生日6月23日鈴木悦朗会員
(奈津子様)

<本日のニコニコ発表: 淵上啓太委員長>



■寺川忠男会員

この度、体調を崩し長い間欠席を致しまして皆様方には大変ご迷惑を、おかけ致しました。又ご心配を頂き大変申し訳ございませんでした。お陰様で、やっと元気を取り戻すことができました。“怪我の功名”と申しますか？60年間吸い続けていた“タバコ”をやめることができました。目下禁煙の挑戦中です。

■高橋修会員

私と家内(修と多賀子)の誕生祝をありがとうございます。69才と64才になります。それぞれ色々な役をおおせつかり、頑張っています。目標77才一日一日大事に生きていきます。

■鈴木悦朗会員

家内への誕生日プレゼントありがとうございます。



社会奉仕基金3,199円

《会報編集委員》大川隆永・野澤新之助・高橋修・森谷充伯

Rotary  2018-2019年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

松戸北ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2255回 例会 2019年6月12日(水)

- | | | | |
|------------------|---------|-----------|---------------------------------------|
| ■国際ロータリー会長 | バリー・ラシン | ■例会日 | 毎週水曜日12:30より(第1例会18:30) |
| ■第2790地区ガバナー | 橋岡久太郎 | ■例会場 | 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」 |
| ■第13G アシスタントガバナー | 野村 充 | ■事務所 | 松戸市八ヶ崎1-11-13 カナイズ・ハイム101 |
| ■松戸北ロータリークラブ会長 | 高橋 一彦 | ■TEL/FAX | 047-711-5950 / 047-711-5910 |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事 | 小澤 直之 | ■Web/Mail | www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

WEEKLY REPORT

<第2254回 例会プログラム>

		司会 野澤新之助
12:30	点鐘	高橋一彦 会長
	国歌及びロータリーソング斉唱	
12:33	お客様紹介	大川高明 会長エレクト
12:35	会食	
13:00	会長挨拶・報告	高橋一彦 会長
	幹事報告	柳孝実 副幹事
13:10	各委員長成果報告	
13:15	諸事御祝(3件)	出席・親睦活動委員会 淵上啓太 委員長
	社会奉仕基金発表	社会奉仕委員会 大塚精一 委員長
	ニコニコ発表	ニコニコ委員会 淵上啓太 委員長
13:30	点鐘	高橋一彦 会長

<クラブ会長挨拶:高橋一彦会長>

皆様こんにちは。昨年7月に松戸北クラブ会長に就任してから最終月を迎えている現在です。

例会としては次週に開催される家族夜間例会と最終例会を残すのみとなりましたが、まだこれより、13グループでの事業であり当クラブの役目である5年に1度の松戸市へのチャリティー寄贈を実施予定でございます。(松戸市役所への寄贈が6月21日であり物品の届が26日の予定)

先般の13グループゴルフ大会におけるチャリティー基金を寄贈品として松戸市にお届けする訳ですが、これは当クラブの物故会員であります坂田長作氏の提案より長きに渡り継続されている事業であります。ロータリーに入会して3度目の当番クラブ経験となりましたが、この時期を迎えると、お付き合いは短い期間でしたが坂田氏のことを思い出します。

もう20年以上前になりますでしょうか、自宅(実家)に帰宅しますと坂田氏を含み、今も現役でご活躍の諸先輩方が集まり「花笠音頭」の練習が行われていた事を記憶しております。

また、練習終了後には当然のごとく宴席が設けられていたのは言うまでもございません。

その後、私がロータリーに入会して奉仕活動を勉強させて頂き、その時に自宅で行われていた事が「老人施設への慰問」への準備であったのだと気付かされ、長時間にわたる宴席も「ファイヤーサイドミーティング」であった事も、現在の私には理解のできる場面でございます。今期初めにございましたガバナー訪問においても相談会の中で、橋岡ガバナーより「会員との何気無い日常会話の中からも、ロータリーアンとしての発想のヒントが沢山生まれるものですよ」との言葉も頂戴しておりましたが、今期のクラブ内の活動としては、このような場を会員の皆様に提供が少なかったこと今も反省をしております。

会長の職務を経験させて頂き、気付いた事の1つがフェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーションが世の中を含み、現在では必要不可欠になって来ているのではと感じました。

メールやSNSなど現在においては大変に便利なツールがございますが、やはり初めはお互いの顔を見合わせてからの一歩目と出来るだけ集まる事が大切であろうと私は思います。

今期も当クラブとして「温故知新」を掲げましたが、やはり諸先輩方の経験や知恵には現代にも通じる素晴らしい内容が含まれております。

どうぞ、これからも後続会員にお力添えを頂くことお願い申し上げます。



WEEKLY REPORT

<ロータリー財団委員会:並木幸雄委員長>

活動計画書のと通りの事業に取り組みました。私と副委員長の鈴木悦朗会員と小林弘会員で行いました。ポリオ撲滅には長年にわたっての事業であります。ロータリーを中心に20年の長年の活動で地球上に何百万人もいた患者が今現在では新たな発症は3か国で数十件にまで減ったようであります。

11月のロータリー月間には会員皆様からの年次寄付にご協力頂きありがとうございます。これら寄付金は世界の平和と紛争予防、水と衛生、基本的教育と識字率の向上等などに使われております。

財団月間に伴い11月21日には2790地区ロータリー平和フェロウシップ委員長で松戸クラブの織田信幸さんをお招きし「ロータリー財団の歴史～活動内容について」講演をいただきました。大変有意義なお話でした。活動報告は以上であります。



<米山記念奨学会委員会:中原光男副委員長>

1. 米山奨学会委員会の活動報告

(1)特別寄付について

2018. 11. 9にて¥380,000の特別寄付がありました。(1万円/1)人

(2)普通寄付について

:前期(2018. 7. 12)¥80,000 (2,000×40人=80,000)

:後期(2019. 1. 9)¥76,000 (2,000×38人=76,000)

(3)米山マルチプル寄付は現在ありません。

2. 外国人留学生に対し奨学金を授与して支援するそして若い外国人材を育成すること、そのための(1)特別寄付(2)普通寄付などあります。会員の皆様の協力に感謝申し上げます。

なお、今年度委員長 池田清氏は過日他界され結果退会となりました。副委員長 中原光男が代わってご報告申し上げます。今後も変わらずご協力をお願い致します。



<職業奉仕委員会:平田洋一委員長>

今年度は、森谷副委員長と小澤委員の3人で進めてまいりました。今年度の目標は、“先義後利”という考え方をベースに職業奉仕への理解を深めるということでした。先義後利とは「義(ぎ)を先(さき)にして利(り)を後(あと)にす」ということです。「義」は人として当然あるべき道の意。「利」は利益のこと。つまり、道義を優先させ利益を後回しにすることです。



活動計画は次の通りでした。

- 1、社会を率いるロータリアンとしてあるべき姿を会員一人ひとりが考え、「現在どのような活動をしているか？」または「今後どのような活動をしていくのか？」という事について発表する機会を作る。
- 2、会員の会社への訪問を実施し、会員及びその企業への理解を深める。
- 3、当クラブの今後における職業奉仕実施の為の調査及び研修年度とする。

松戸北クラブの行事として、国際ロータリー第2590地区 横浜鶴見北ロータリークラブ 第46代会長の渡辺直昭様をお迎えし、『伝統を超える革新』『新しい会員枠の増設』の二つをテーマに卓話をして頂きました。渡辺様の卓話は当クラブにおいても参考になる部分が多く、有意義な会になったのではないかと思います。

また個人としましては、一週間に一度、会社の前の通りである八ヶ崎の交差点の掃除を行いました。気づいた事は、たばこの吸い殻のポイ捨てが多い事。また雑草が伸びるのがとても早く、綺麗な景観を保つには定期的に手入れをしなければならないことも意外な点でした。掃除をしていると、多くの人々が街の美化に無関心なことに少し寂しく感じる時もあります。私自身、今まではそんなに気にかけていませんでした。

職業奉仕委員長を務めたことがきっかけで始めた掃除ですが、いざ始めてみるとゴミが落ちていることが気になるようになったので、今後も続けたいと思います。今年度は職業奉仕委員会の実践的な活動という面において、クラブ全体での動きは少なかったと思います。今後、当クラブにおいて職業奉仕への理解が深まり、実践に繋がれば嬉しく思います。次年度は、職業奉仕委員長を高橋会長に引き継いでいただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

<国際奉仕委員会:小澤盛明委員長>

活動報告申し上げます。まずは、活動計画の内容として目標は日々変化する国際情勢を鑑み当クラブとして、どのような活動をすれば国際貢献が出来るか、会長の意向の元奉仕活動を模索していきます。

活動計画として

1. 地区奉仕委員の方に卓話を依頼し、ロータリークラブの国際奉仕活動状況などを勉強する機会を設けたい。
2. 会長を軸に、国際情勢の情報収集に努める。
3. 他国のロータリークラブとの交流機会を模索する。

と言う計画を立てさせて頂きました。

1番目の地区奉仕委員への卓話依頼ですが、タイミングが合わず実現できませんでした。

2番目の情報収集ですが、会長のご協力のもと他国の方との交流が出来、多少の情報収集ができたと思われます。

3番目の交流機会を模索するのですが、他クラブの話を参考にさせて頂き検討したのですが、かなりハードルが高く難しいように思われました。

以上計画に対しての報告ですが、国際奉仕委員長を務めさせて頂き、成果が残せず大変申し訳なく思っています。改めて、国際奉仕の難しさを実感させられました。

以上 成果報告とさせて頂きます。



<幹事報告:柳孝実副幹事>

■松戸中央ロータリークラブより例会臨時変更のお知らせです。

2019年6月20日(木)親睦旅行例会に変更

場所:日光「日光千姫物語」 点鐘:18:00



各委員長成果報告

<社会奉仕委員会:大塚精一委員長>

社会奉仕委員会です。

社会奉仕委員会の本年度の総括は、芋掘り大会の事業を来年度以降廃止した事です。芋掘り大会は地元の小金小、小金中、栗ヶ沢小、栗ヶ沢中、馬橋小の「仲よし学級」の子ども達を対象に我がRCにおいて30年以上継続してきた最も大切にしてきた事業です。

昨年を振り返りますと5月12日に除草・肥料の散布・耕作、5月22日に畝づくりと一部苗植え、6月4日に畝づくりと残りの苗植え、この時の畝づくりで亡き池田会員と並木会員に大変なお骨折りを頂きました。7月18日に草取り、

8月22日に草取りと蔓返しをそれぞれ実施しました。齋藤和實会員が参加できなくなってしまった関係で、苗の購入等を含め段取りが分らず大変苦労しました。

芋掘り大会は栗ヶ沢小を除く4校で10月10日に実施され、子ども達 87名、保護者先生方29名、RC会員18名、総勢134名の参加の元、賑やかに実施されました。子ども達には、あの生き生きとした姿を見る限り大変喜んで頂いたものと確信しています。

私は芋掘り大会の終了時の挨拶で、来年もぜひ参加してねと言ってしまいましたが、耕作地・耕作者の問題で来期は事業の廃止が決定された処です。

このことについて、各学校の校長先生に文書を持って5月22日に挨拶に行き、事業の廃止の理由を丁寧に説明し納得を頂いた処です。殆どの校長先生から「事業の廃止は残念ではあるけれど事情はよくわかりました、長い間ありがとうございました」とのお言葉を頂きました、この場をお借りし報告させて頂きます。

また、来期以降の事業については会員全体でよく検討し、より良いものになりますよう祈念して、報告を終了させて頂きます



■米山梅吉 (UMEKICHI YONEYAMA) ■

1920年世界855番目のRC(東京RC)を創立し、日本に初めてロータリーを導入した。東京RCの初代会長に就任し、日本のロータリーの発展の基礎を築いてくれた偉大な人である。